

# 大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和6年(2024)

皇紀2684年

新春号

【第128号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>



### 令和六年の甲辰歳の新春にあたり

## 謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と 氏子・崇敬者の皆様のご清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田 紀彦

今年（西暦2024年）にあたり、昭和以来99年、平成以来36年となります。

3年間に及ぶコロナ禍との闘いが、世界に目を向けますとロシアのウクライナ侵攻による戦いが鎮静化するどころか、新たにイスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘が始まりました。ガザ地区の病院に、怪我人や新生児等が運び込まれている映像がテレビに映し出されておりましたが、医療関係の設備も破壊されており、何ら治療もできない哀れな状況で犠牲者や死者が多く出ているのです。一体、両国の指導者や宗教者等はどうか考えているのでしょうか。

一日も早く、鎮静化することを願ってやみません。

我が国では、明治37年の日露戦争開戦直後、

明治天皇の御製に

『よもの海みなはらからと思ふ世に  
など波風のたちさわぐらむ』

訳（世界の国々はみな兄弟だと思っているこの世の中で、なぜこのように波風が立ちあがるのだろうか）

と詠まれた有名な一首があります。が、米国のセオドア・ルーズベルト大統領が感動して、講和のため努力されたことが想い出されます。

さて、去年は当宮御鎮座九百六十年であり、春秋の祭典はもとよりすべての行事を奉祝して行わせていただきました。

その中でも特筆すべきことが3件あります。

○裏千家の献茶式に百寿をお迎える千玄室大宗匠に御奉仕頂いたこと。



大宗匠揮毫の色紙

○本宮・石清水八幡宮より勅祭石清水祭で奉納の3座4種、計12台の御花神饌の撤下を戴いたこと。（この撤下は10年前の九百五十年式年以來2度目となります）



御花神饌

○元境内の善福寺川の河川護岸工事改良に伴う参宮橋（八幡橋）の改築を機に当宮も北参道整備の一環として、篤志家のご奉納により八幡鳥居が建立されたこと。それに伴い、赤門より北鳥居までの北参道両側に春日



北参道燈籠イメージ

燈籠（アルミ製）8対計16基を建立することになり、一基30万円でご奉納頂くことになりました。何卒ご奉賛の程よろしくお願ひ申し上げます。

令和6年、甲辰歳の新春を迎えるにあたり、午前零時の初太鼓のあと、ご神前では吉例により人間国宝観世流能楽のシテ役野村幻雪師の3回忌を終えられた嫡男昌司師が、観世流家元の許可のもと神能「翁」の舞で新春を寿がれます。

新年も御鎮座九百六十年のご神威の余韻が残る中、ご神前に額ずき、大宮八幡宮の神々とのご神縁と絆をより深く結び、豊栄昇る初日（朝日）を浴びて、更に活気のある幸せ多き年となりますよう祈念し年頭の挨拶と致します。

**明けましておめでとーございます**  
**令和六五甲辰歳正月**

一日 観世流能楽師 野村昌司奉納 神能「翁」  
 二日 小笠原流除魔神事 墓目の儀・大的式

元日午前零時、宮司の打ち鳴らす令和6年の幕開けを告げる初太鼓が境内に響き渡ります。新春を祝うご参拝の皆様が列が拝殿前へと続く中、拝殿内では観世流シテ方能楽師の野村昌司師による神能「翁」が奉納され、次いで宮司奉仕により歳旦祭併せて新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）を斎行。皇室国家の弥栄、五穀豊穰、国民の安寧と諸願成就を祈念いたし、順次新春初祈願祭が奉仕されます。

2日午前には小笠原流宗家による新春除魔神事、墓目の儀・大的式が奉納されます。墓目の儀では墓目鳴鑼矢の「ヒュー」という霊妙な風切り音により魔障を退散させ、弓威により一年の邪気を払います。3日には、皇位の大元始を寿ぐ元始祭を斎行。こうして大宮八幡宮の一年が始まります。



**新春献燈提灯奉納のご案内**

新春の期間、1月1日～2月3日まで、皆様のお名前を入れた献燈提灯を掲出させていただきます。活気を取り戻した世の中の幸多き未来を照らし出すように祈念してご社頭を賑々しくお飾りします。



**令和6年**

**新春の祭典と主な行事**

- 1月1日 神能「翁」
  - 1月1日 歳旦祭併せて新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）
  - 1月2日 小笠原流墓目の儀・大的式
  - 1月3日 元始祭
  - 1月7日 昭和天皇祭遙拝
  - 1月15日 古神札焼納祭（とんど焼き）
  - 1月25日 初天神大祭「大宮天満宮」
  - 1月26日 文化財防火デー・消防演習
  - 2月3日 節分祭 鳴弦の儀・豆撒神事
  - 2月11日 紀元祭
  - 2月12日 初午大祭「大宮稻荷神社」
  - 2月23日 天長祭
  - 2月25日 梅花祭「大宮天満宮」
  - 3月20日 春季皇霊祭遙拝
  - 3月下旬 大宮八幡桜まつり
  - 4月上旬 大宮八幡桜まつり
  - 4月1日 応神天皇陵遙拝
  - 4月3日 神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
  - 4月29日 昭和祭・春の弓道奉納射会
  - 5月3日～5月5日 大宮八幡宮わかば祭り（春の大祭）
- 第一ノ儀 (3日)  
 こどもの祭り・稚児行列・はしご乗り
- 第二ノ儀 (4日)  
 植樹祭「苗木配布」
- 当日祭 尚武祭 祈年祭 (5日)
- 裏千家献茶式
- 5月11日 御嶽権名神社例祭「御嶽権名神社」
- 5月16日 狭城盾列池上陵遙拝並びに神功皇后祭
- 6月3日 朔旦祭
- 毎月1日 月次祭
- 毎月15日 大宮天神月次祭
- 毎月25日 (どなたでもご自由に参列できます)

毎月・お朔日参りを致しましょう

**謹賀**

**令和六年元旦**

**大宮八幡宮**

代表役員宮司 鎌田 紀彦

**責任役員**

藤枝 宏友  
 内山 誠  
 瀬沼 宏章  
 玉村 恭男  
 鈴木 憲章  
 末柄 哲男

**議長団**

丸山 光男  
 葉梨 俊郎  
 古屋 進

**監査**

笠原 紀一  
 瀬沼 年男  
 細野 修三

**総代**

荒井 昭一  
 古屋 進  
 前田 正文  
 五本木 勝

**大宮地区**

末柄 哲男  
 根岸 政明

**方南南地区**

丸山 光男  
 齋藤 恵一  
 内山 誠  
 山崎 政義  
 相川 雄一  
 三枝 稔明

**方南北地区**

岩崎 太良  
 齊藤 多美夫

**和田東地区**

梅田 清彦  
 横尾 晃央  
 佐野 守男  
 岩船 紀一  
 笠原 恭男  
 玉村 恭男

**和田西地区**

藤枝 宏友  
 森川 純一  
 池田 鐘一  
 葉梨 俊郎  
 春原 功典

**松ノ木地区**

太田 正年  
 瀬沼 年男  
 瀬沼 宏章  
 松島 敏之  
 井川 邦夫  
 松川 穰  
 小川 宗次郎

**東京部敬神婦人連合会**

大宮八幡宮敬神婦人会

**（りんどん）会**

会長 鎌田 民枝

**大宮八幡宮氏子青年会**

会長 井川 邦夫

**兼務神社総代会長**

堀ノ内熊野神社  
 渋谷 達雄

**成宗白山神社**

岩田 和保

**尾崎熊野神社**

蕪山 広司

# 大宮八幡宮 早春の行事

## 新春恒例の除魔神事、 墓目の儀・大的式

年頭にあたり、恒例の弓の除魔神事である**墓目の儀・大的式**が、小笠原流宗家と一門の方々により、1月2日午前10時に奉納されます。矢先につけた墓蛙に似た鏑の形を墓目といい、射ると「ヒュー」という霊妙な音が出て魔障が退散するといわれています。大的式は約1500年前、清寧天皇の御代に射を行ったとの『日本書紀』の記述に基づく、公家・武家に伝わる重儀であり、いづれも当宮の新春恒例の天下泰平・国家安泰を祈念する弓始めの神事です。



## 古神札焼納祭(とんど焼き)齋行

小正月の伝統行事、**古神矢・古神札焼納祭(とんど焼き)**が、1月15日睦月月次祭に続いて齋行されます。古く宮中では、小正月に清涼殿東庭で吉書を焼く左義長の儀式が行われました。当宮ではこの故事に基づき、社殿にて**睦月月次祭**に併せて**焼納奉告祭**を行い、続いて午前11時半より拜殿前特設齋場にて**焼納祭**を齋行します。参拝者の皆様がお納めになった正月飾りをはじめとして、

## とんど焼きにご協力をお願い

ご神札等をお納めいただく際に全て点検・選別させていただき、**神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生のおそれのあるもの(プラスチック製古品等)・包装紙は、その場でお持ち帰りいただいております。**  
◆**お守り・古神矢・古神札類他の神社のもの**も)及び**正月飾り**のみお預かりいたします。  
◆人形類は、別途ご社殿におきまして**人形感謝祭**を齋行してからお納めいただけますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。但し、ぬいぐるみはお預かりできません。



ご神札、お守り、守護矢、注連縄等が齋場に積み上げられ、まず古式に則り**火鑽**神事が行われ、燻された浄火により**点火**。燃えさかるお焚き上げの忌火を前に宮司以下神職

## 大宮天満宮初天神大祭

1月25日午前10時より**初天神大祭**が齋行されます。御祭神の学問の神様、菅原道真公に学業成就・技芸上達



を祈願します。また、梅の香かおる梅ヶ香御守が社頭にて特別に授与されます。

## 文化財防火デー消防演習

昭和24年1月26日、世界最古の木造建造物である奈良・法隆寺の金堂で火災が発生し、壁画の多くが焼失しました。貴重な文化財が焼失される事態を防ぐため、この日は**文化財防火デー**と定められました。当宮では自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第2分団による**消防訓練**が毎年実施されています。午前10時、御社殿よりの出火を想定して通報連絡、避難誘導、貴重品の持ち出し、初期消火等の訓練が行われ、大宮幼稚園の園児たちが見守る中、**社殿への一斉放水**が実施されます。



## 成人奉告祭ご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告し、神明の御加護のもと社会の一員としての自覚を新たに**成人奉告祭**を随時ご奉仕しています。ご祈願の**新成人**の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を特別授与いたしております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。

## 新春初祈願祭のご案内

元旦の午前零時、その年最初の祭典である歳旦祭に併せて「**新春厄除開運初大祈願祭**」が宮司奉仕により執り行われます。この祈願祭は、あらかじめ予約申込みを頂いております。引き続き午前1時より氏子・崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする**新春初祈願祭**を行っております。ご家庭や職場の皆様のご願意に応じて、2月3日の節分まで随時ご祈願祭をお受けしております。



また左記の時間の祭典及び、新春奉納行事などの参拝の際は祭典終了までお待ちいただく場合がございますので、詳細は社務所までお尋ねください。

1月3日午前9時 元始祭  
1月15日午前10時 月次祭

## 企業団体の祈願祭も

企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。祈願祭にはご代表様・従業員の皆様お揃いでご昇殿いただきます。ご祈願を受けられ清々しい仕事始めと致しましょう。

新春初祈願祭に限り、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、事前申込みいただけます。

※新春初祈願祭では事前申込みの方のみご神札に祈願名と祈願者名を浄書させていただきます。

### 節分祭(鳴弦の儀・豆撒き神事)

立春の前日の節分は四季の変わり目の中でも特に重視されてきました。悪疫邪気を追い払う追儺神事は中国より渡来したもので、『続日本紀』には文武天皇の御代に疫病を鎮めるために行われたとの記述があり、我が国でも古来より行われておりました。当宮では節分祭を斎行し、宮中の例に倣い桃弓・葦矢で「天・地・鬼門」に潜む魔を射る除魔神事を行い、ついで社殿前にて宮司により弓の弦の鳴る音で妖魔を祓う鳴弦の儀が行われます。その後、鬼のお面をつけた当宮幼稚園園児が参加して行われる豆撒き神事も微笑ましい節分の行事として親しまれています。



### 紀元祭並びに橿原神宮遷拝



2月11日は建国記念の日(紀元節)で、全国各地で我が国の建国を寿ぐ諸行事が行われます。当宮では午前10時より紀元祭が斎行され、皇室国家の繁栄・国運の隆昌、世界の平和を祈念申し上げます。引き続き清涼殿2階の特設齋場で神武天皇をお祀りする橿原神宮を遷拝します。

### 初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願する「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭にご奉納賜りますよう、ご案内いたしお願い申し上げます。

一、朱色のぼり 一口三、〇〇〇円  
(できましてら一對二口以上でお願いいたします)のぼりには、  
ご氏名(または会社社名)を入れさせ  
ていただきます。  
(本年度より4字増加し長くなっています)



### 大宮稲荷神社初午大祭

2月の最初の午の日である2月12日の午後1時に、大宮稲荷神社初午大祭が斎行されます。約1300年前の和銅4年(711年)の初午の日に京都伏見の峰に稲荷大神が降臨されたという故事により、全国の稲荷神社で初午祭が斎行されています。百数十本の鮮やかな朱色の初午のぼりが立ち並ぶなか、のぼり奉納者・氏子崇敬者の参列のもと祭典が斎行されます。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも執り行われます。



### 天長祭並びに皇居遷拝

2月23日は今上陛下の御誕生日にあたり、陛下の益々のご健勝と皇室の弥栄、国民の平安を祈る天長祭が午前10時より齋行されます。ついで、清涼殿2階に設けられた特設齋場にて皇居遷拝並びに聖寿の万歳を執り行います。



### 大宮天満宮梅花祭



2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公のご命日にあたり、梅花をこよなく愛でた道真公を偲び梅花祭が斎行されます。梅が枝、梅花米がお供えされ、諸願成就が祈念されます。

### 勧学祭・ランドセルお祓い

子育て八幡様のご加護を戴き、6年間の学業成就や学校生活の充実、交通安全を祈願する勧学祭を斎行し、これから毎日背負うこととなるランドセルをお祓いします。小学校への入学は大きな人生の節目です。ご神前にてランドセルのお祓いを受け、心身共に清々しい気持ちで新学期を迎えましょう。



### 大宮八幡桜まつり開催

桜の開花する3月下旬から4月上旬には、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯で善福寺川沿いの約700本の桜が一斉に咲き誇ります。開

### 新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

### 令和6年厄年表(数え年)

男	前 厄	大 厄	後 厄
	平成13年生(24歳)	平成12年生(25歳)	平成11年生(26歳)
女	前 厄	大 厄	後 厄
	平成19年生(18歳)	平成18年生(19歳)	平成17年生(20歳)
性	前 厄	大 厄	後 厄
	平成5年生(32歳)	平成4年生(33歳)	平成3年生(34歳)
性	前 厄	大 厄	後 厄
	平成元年生(36歳)	昭和63年生(37歳)	昭和62年生(38歳)
	昭和40年生(60歳)	昭和39年生(61歳)	昭和38年生(62歳)

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることができます。



# 杜の話題

## 大宮八幡祭り(秋の大祭)



御鎮座九百六十年を奉祝し盛大に行われた大宮八幡祭り(秋の大祭)では、まず9月15日に若宮八幡神社並びに白幡宮例祭を斎行、9月17日には例祭併せて氏子奉幣祭が斎行されました。祭典中には裏千家淡交会東京第7東支部による奉茶の儀の後、宮司が祝詞を奏上。神社本庁の献幣使として清水祥彦東京都神社庁副庁長(神田神社宮司)が参向され、神社本庁幣を奉幣し祭詞を奏上。本宮石清水八幡宮より田中朋清権宮司が参向され、本宮石清水八幡宮幣・全国八幡宮連合幣を奉幣し祭詞を奏上いただきました。また、本年度副奉幣使(副祭礼委員長)の藤枝宏友責任役員が、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の氏子6地区よりの淨財を氏子幣として大前に献じられ、奉幣使(祭礼委員長)鈴木憲責責任役員が氏子祈願詞を奏上されました。続いて巫女4人による浦安の舞が奉奏され、直会では、和太鼓奏者響道宴氏による清興が催されました。同日午後6時には、4年ぶりに第35回神輿合同宮入りが斎行されました。本年は



9基の神輿が大宮宮元會神幸所より発興し、順調に表参道を進んだ後、神門内大前に練り込み、大前での熱気に満ちた神輿振り最高潮に達しました。大祭期間中には大宮幼稚園園児民謡踊り・杉並太鼓・方南エイサー踊りなどの奉祝行事が行われ、露店も出店されて境内は大変賑わいました。さらに重陽の節句菊被綿飾りが9月9日より18日まで清涼殿ロビーにて展示されました。

## いけばな小原流献花式斎行



御鎮座九百六十年奉祝大宮八幡祭り斎行にあたり、小原流東京支部専門教授者西地区協議会が中心となって第43回献華いけばな小原流展を開催しました。

## 中学生職場体験



そして9月18日には御鎮座九百六十年を奉祝し、当宮では3回目となるいけばな小原流献花式が斎行されました。いけばな小原流5世家元小原宏貴氏の御名代として小原流研究院知地正和助教授の奉仕のもと、苔マキと中菊が整えられ恭しく神前に献じられました。

当宮では近隣の中学校の職場体験を受け入れており、9月27日から29日に大宮中学校2

年生女子2名が参加しました。神職の指導により白衣袴姿で朝拝に参列。境内の説明から掃き掃除、授与所でのお守りの授与、大祓詞の書写、紙垂切り体験など神社でしかできない多くの経験をしました。最終日には装束を着けて記念写真を撮影しました。

## 第23回十五夜の神遊び

昨年の十五夜(旧暦8月)は9月29日であり、翌土曜日の30日に第23回十五夜の神遊びが斎行されました。夕刻6時より約1300基の竹灯笼



に神職や参列者等の手によって火が点され、仲秋祭を斎行。本殿では雅楽「陪臚」が、神楽殿では「浦安の舞」が奉奏されました。引き続き神楽殿にて月の音舞台が開かれ、尺八奏者き乃はち氏による御鎮座九百六十年を奉祝しての演奏が奉納されました。



## 東京都八幡会研修旅行 岡山県方面へ

新型コロナウイルスの影響で令和元年以来中止されていた東京都八幡会(会長 当宮鎌田宮司)の研修旅行が、「岡山県八幡信仰を訪ねて」と題し4年ぶりに開催されました。10月2日から4日にかけて行われ、14名が参加しました。

まず、東京駅に集合した一行は、最初の目的地、吉備津神社へ向かいました。正式参拝の後、御祭神や、入母屋造りの屋根を前後に並べた「比翼入母屋造」という全国唯一の社殿などについて説明を受け、『日本書紀』その由来をもつ御竈殿にて行われた「鳴釜神事」を拝観しました。ついで、古くから歴代の岡山藩主の崇敬の篤い吉備津彦神社を参拝しました。その後、全国で初めて日光東照宮から地方勧請された玉井宮東照宮、和氣氏一族の祖神・鐸石別命をお祀りして

おり、後に和氣清麻呂公がお祀りされたときとされている和氣神社を参拝しました。

2日目は宮本武蔵生家跡・讚甘神社を参拝しました。

現地では、讚甘神社宮司様のお計らいにより、武蔵の里大原観光協会の細野様に、生家から武蔵神社、讚甘神社まで

の道中をご案内いただきました。

ついで、鑛作神を祀る美作国一ノ宮中山神社、後醍醐天皇と児島高德を祀る作楽神社、備中国総社宮を参拝しました。

3日目は菅田別命をはじめ5柱の神を祀る鴻八幡宮、岡山市中心部の氏神神社として古くから崇敬されている今村宮、『延喜式神名帳』に明神大社と記された備前国随一の古社であり、神武天皇の兄にあたる五瀬命を主祭神とする安仁神社を参拝。その後、明治時代に創建された中山八幡宮を参拝。現地では宮司様

氏子の皆様からお出迎えいただき説明を受け、帰途につきました。



安仁神社



吉備津彦神社

### 全国八幡宮連合 第42回研修会

全国八幡宮連合の主催する第42回研修会が、11月6日から7日にかけて行われました。当宮より宮司、神職1名が参加し、岐阜県の視察を行いました。初日は高山祭屋台会館を見学の後、櫻山八幡宮を正式参拝。ついで行われた研修会では、「高山市の発展に大きな影響をもたらした高山祭に長年深く関わってこられた方々の実践報告」と題した元教育委員会文化担当者の田中彰氏と高山屋台保存会の寺地亮平氏による講演を拝聴し、ひだホテルプラザにて行われた懇親会で親睦を深めました。7日には、白川郷へ移動し各所を散策、白川八幡神社を参拝。JR高山駅で散会となりました。

### 大宮幼稚園園児画展

大宮幼稚園年中組の園児たちの「自分」をテーマにした76点の作品が、神門南側回廊に11月3日より11月30日まで展示されました。園児や友達たちが、自分やお友達の描いた作品を鑑賞していました。



### 神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式

11月13日、初春を迎えるにあたり氏子崇敬者・立正佼成会会員の方々にお頒かちする神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式が斎行されました。



藤枝責任役員、内山責任役員、瀨沼責任役員、鈴木責任役員、兼務神社役員、立正佼成会神札頒布責任者の森川順子様のご参列のもと、ご神前にて神宮大麻や各氏神大麻、大宮三宝荒神などの神札類の頒布始めを大神様に奉告後、各代表に授与されました。また12月中旬には神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻、氏神様のお札、三宝荒神様の御神札をお頒かちしております。ご希望の方は、当宮社務所、もしくはお近くの当宮責任役員・総代にお尋ねください。各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しい御神札をお祀りして清々しい一年をお迎えしましょう。

### 立正佼成会釜石教会 正式参拝

11月14日

立正佼成会釜石教会の皆様が来宮。御社殿前で記念撮影の後、正式参拝をされました。



### 秋の実りに感謝 新嘗祭



11月23日午前9時より、新穀を八幡大神様にお供えし五穀豊穣を感謝する新嘗祭が、宮司以下祭員奉仕により大祭式にて執り行われました。責

任役員、総代、りんどう会会員、氏子青年会会員、奉納者らの参列のもと斎行され、当宮幼稚園園児らが園内の稲田で丹精込めて育てた初穂や、サミット(株)、(株)J A 東京中央セレモニーズ、山崎製パン(株)など、氏子崇敬者の篤志の方々から献納された穀物や野菜、果物などが、庭積機代物として大前に献じられました。



庭積機代物

には神職による講話を受け、その後懇談会を行いました。



### 一万人のお宮奉仕 御垣内清掃奉仕

全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を開いている一万人のお宮奉仕の活動が11月29日に行われました。正式参拝の後、落ち葉の掃き掃除を中心に境内の清掃奉仕活動を行いました。午後



### 杉並大宮菊花展

審査会を開催、宮司賞以下の選定が行われました。第45回杉並大宮菊花展表彰式は12月18日に執り行われました。

10月28日より11月23日まで第45回杉並大宮菊花展が開催されました。11月6日には杉並大宮菊の会主催のもと

### 第45回杉並大宮菊花展受賞者

宮司賞	聖光白峰	吉田 光治
杉並区長賞	国華越山	青木 弘次
杉並大宮菊の会会長賞	国華金山	山田 恭市
大宮八幡宮責任役員賞	精興金鳳	松尾 和雄
審査委員長賞	泉郷流笛	小林 泰子
京王電鉄賞	国華越山	吉田 晴美
サミット賞	泉郷汽笛(黄)	佐々木智久
みどりの会会長賞	国華幸運	佐藤アル子
新人賞	泉郷汽笛	古澤 泰志
新人賞	泉郷流笛	小林 泰子
新人賞	国華幸運	佐藤アル子
新人賞	泉郷汽笛(黄)	佐々木智久

### 第30回杉並花笠祭り

12月9日、コロナ禍のため中止となっていた杉並花笠祭りが4年ぶりに開催されました。サミット(株)・大宮八幡宮の共催で行われる花笠祭りは今回で30回目となりました。いまや師走の風物詩となっているこのお祭りは、開

### 氏子青年会だより



12月24日、年末恒例の門松づくりが行われ、新春を迎える準備を整えました。

催奉告祭が午前9時30分より太前で行われ、神門前のステージで鏡開きが10時より行われました。表参道より大前まで午前・午後2度にわたり花笠踊りのパレードが奉納され、山形産の農作物や特産品の露店が立ち並び、郷土料理である芋煮や御神酒などがチャリティーで振る舞われ、初冬の境内には午前10時から午後3時まで約3万人の参拝者で賑わいを見せました。



### 松本明子様(有限会社オフィスアムズ)交通安全祈願

9月14日、有限会社オフィスアムズの代表であるタレントの松本明子様が来社。レンタル事業を展開している軽キャンピングカーの交通安全祈願をお受けになりました。当宮では車・バイクの交通安全祈願を毎日9:30~16:30の間、随時受け付けております。



### 御垣内清掃

9月9日、秋の大祭を控えて清掃奉仕が行われました。雨天のため、社殿回廊や神門の拭き掃除を鎌田会長以下役員を中心にいたしました。



### りんどう会だより



9月27日、創立75周年記念第73回全国敬神婦人大会宮崎大会がシーガイアコンベンションセンターで行われ、全国各地の敬神婦人会会員が出席しました。全国敬神婦人連合会の総務委員長も務める当会鎌田会長が出席、議長として登壇しました。また、創立75周年記念表彰が行われ、りんどう会役員の5名が表彰されました。

### 毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる方が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただくこと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参り大御幣振り神事を奉仕して月代りの御幣守護を授与いたしております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三千元、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三万円にて齎行いたしております。



# 大宮八幡宮 第10回フォトコンテスト 入選作品発表

宮司賞(最優秀賞)



『屋越の暮日乃儀』  
佐藤多紀

審査委員長賞(優秀賞)



『導く』  
高山敏郎

金賞



『お稚児さんの行列』  
岡本洋三

銀賞



『道を照す』  
高橋浩子

銀賞



『茶室の竹林』  
秦 道夫

銅賞



『輝く意匠』 桜田真由

銅賞



『つよそうなくち!』  
しろいし ゆきあき

銅賞



『奉納梯子乗り』 新井一夫

第10回大宮八幡宮フォトコンテストが開催され、7月31日までに大宮八幡宮の四季折々の風景や、祭礼行事を写し撮った24名、過去最多となる86点の作品が寄せられました。8月18日に、杉本恭子審査委員長をはじめ、宮司・審査委員各位の厳正な審査の結果、最優秀作品1点、優秀作品1点他、各賞が選出されました。また、9月30日には正式参拝の後、選考作品特設展示会場にて杉本審査委員長より受賞者へ総評、各作品の講評が発表され、大宮八幡宮清涼殿「亀の間」で表彰式が行われました。なお、当日は夕刻より第23回十五夜の神遊び(仲秋祭)が行われ、受賞者の方々は秋の夜空に昇る月灯りと竹燈のほの灯りに照らされた境内を散策、しばしの撮影会を楽しみました。

## 第11回 フォトコンテスト 作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただきます。大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんでいただきたく、昨年に引き続きフォトコンテストを開催いたします。

応募期間 令和5年8月1日～  
令和6年7月31日

募集サイズ: 2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。応募作品はお一人につき5点までです。詳細は、社頭やホームページにて要項をご確認ください。

協力写真店

フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)  
カメラハウス本店(久我山)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

# 初宮詣芳名(敬称略)

(令和5年7月21日~11月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- |       |        |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 中川陽葵  | 藤原樟成   | 萩本一澄  | 山尾心乃   | 青木奏舞  | 内田紗愛  |
| 佐生知優  | 原大翔    | 一條鍊   | 日隈燈哉   | 青野紡   | 志村朝陽  |
| 小林珠来  | 高橋理陽人  | 佐々木結未 | 立脇維千花  | 飯岡詩依菜 | 香川大和  |
| 秋山大地  | 渡邊曜    | 鶴川遥天  | 中村咲軌   | 安藤夢莉  | 日退麻里  |
| 入沢和樹  | 海田絵子   | 廣澤知紗  | 古屋茉奈   | 深川波希  | 櫻澤萌以  |
| 産本梓   | 出雲聖    | 前田息吹  | 西村理識   | 麦田茉優  | 神林学杜  |
| 山城穂華  | 廣澤知紗   | 前田息吹  | 柴凜音    | 大池晃翔  | 神林学杜  |
| 上村英   | 中島凛    | 小島由依  | 重松唯仁   | 神林学杜  | 宮田萌百花 |
| 角南律   | 清水凛    | 松木羽大  | 水島康希   | 塚田光   | 宮田萌百花 |
| 橋本萌々乃 | 増田恵菜   | 小町惺生  | 梶原采紗   | 石津渚   | 今田のん  |
| 後藤聡花  | 井上紗斗   | 寺敷衣都  | 木村湊    | 横田一華  | 平田陽輝  |
| 松本權   | 野方結色   | 佐藤藤斗  | 木下彩羽   | 松下律   | 石村葵   |
| 井上実南  | 安藤珠愛   | 針谷絢斗  | 東春瑠乃   | 天田遥真  | 梅澤輝   |
| 梁川琴羽  | 大場菜生   | 木村共治  | 上田昊空   | 行武大翔  | 北田音羽  |
| 飯塚大貴  | 木田明莉   | 松浦和玖  | 酒井步睦   | 天田遥真  | 平畑結那  |
| 大場望美  | 阿左美七々夏 | 山口夏音  | 山口夏音   | 北原碧葉  | 北畑結那  |
| 藤原楓   | 山口翔太   | 山口晴瑠  | 山口晴瑠   | 川瀬紗風  | 佐野蒼紀  |
| 治田凜乃佳 | 篠崎光希   | 成田真智  | 福司草乃   | 遠藤楓乃  | 吉澤緋呂  |
| 伊藤蒼真  | 近藤立希   | 梅田芽結  | 江川友翔   | 駒宮碧人  | 田村星風  |
| 米田恭子  | 田中悠    | 前田あさ美 | 藤原唯莉香  | 齊藤百希  | 田村星風  |
| 河西那樹  | 中須千咲   | 水野和晴  | 細下拓海   | 筒井海斗  | 中西凌音  |
| 尼崎鈴   | 富澤真広   | 山口空愛  | 藤原海    | 齋藤百希  | 高橋亮翔  |
| 菊地椿東  | 長谷川葵   | 佐藤鈴華  | 弓塚フナト団 | 塩沢泰和  | 片岡彩那  |
| 菊地作曙  | 小森斗和   | 宮川陽葵  | 宇賀神心来  | 谷田好花  | 智陽海斗  |
| 島崎陽琉  | 森田もも   | 中屋湊   | 中嶋優里   | 田中照夫  | 窪田萌乃  |
| 赤羽美海  | 清水陽葵   | 外側寿弥  | 越山遥月   | 宮原歩   | 中村渚   |
| 柳莉央   | 長村奏汰   | 秋元丈   | 本間りあ   | 宮原歩   | 武谷翠   |
| 横山るか  | 川元千宙   | 品川衣知花 | 廣瀬柊    | 竹内涼花  | 武藤彩矢  |
| 藤代權成  | 中永暁翔   | 金子果斗  | 長濱風紗   | 谷口暖   | 塩田恵菜  |
| 金子久久  | 齋藤翔太   | 木村奏暁  | 野田久沙耶  | 梅澤輝   | 水野里音  |
| 大和田翼玖 | 横田侑臣   | 飯島光紀  | 佐々木優   | 吉井權   | 伊藤暖   |
| 小林紗綾  | 長谷川禪   | 鈴木嶺太  | 小川通士   | 新井絢斗  | 新宮優乃  |
| 和田晴喜  | 原島悠乃   | 鈴木蓮三  | 八重沢映仁  | 古山颯太  | 片岡蒼大  |
| 原田隆平  | 鈴木瑛菜   | 小川乃愛  | 西園晴那   | 山本ひかり | 伊藤志歩  |
| 原田果歩  | 石塚琥大朗  | 牛腸瑛登  | 清岡千晃   | 藤本愛理  | 相澤美玖  |
| 若木美伶  | 北野みつ葉  | 角玲汰   | 吉田楓都   | 高木絢成  | 相澤美玖  |
| 小原千依  | 水澤明佐   | 前田晃澄  | 君島大翔   | 鈴木琴   | 北原留夏  |
| 佃つくし  | 入山七妃   | 角田虎汰朗 | 雪杏風    | 勝本雲葉  | 田淵皆   |
| 辻花名   | 岡本実咲   | 田口航也  | 高橋琉玖   | 安倍朔玖  | 折原朔仁  |
| 藤江批那多 | 樋渡葵音   | 菅田修正  | 太田千尋   | 川島圭登  | 黒崎紡   |
| 守山わこ  | 北本陽佳梨  | 村上愛果  | 小川陽菜   | 島山陽   | 船田夏鈴  |
| 織田碧惟  | 馬場虹羽   | 鈴木紗那  | 渡邊紗菜   | 中西例斗  | 大本風珠  |
| 藤原加楠  | 桑原和花   | 原田陽大  | 加納征吉   | 綿引風待  | 加藤縁   |
|       |        |       |        | 阿部田芽生 | 北川晃太郎 |
|       |        |       |        | 小川沙弥郎 | 福島凜   |
|       |        |       |        | 津野瑠   | 長島葵   |
|       |        |       |        | 渡邊陽葵  | 片寄暖麗  |
|       |        |       |        | 山崎郎   | 足立柚姫  |
|       |        |       |        | 加藤颯郎  | 岡直宏   |
|       |        |       |        | 福原衣音  | 縣佑稀人  |
|       |        |       |        |       | 山口琳斗  |
|       |        |       |        |       | 松山結南  |

## どんぐり通信

「作品展」 水村幸百合



境内のイチヨウが色づき始めた11月18日、作品展が開催されました。思いきり体を動かした運動会が終わると、発想豊かに表現する作品作りが集中します。各学年2〜3点出品しますが、その中で毎年年少組は、フォルモ(紙粘土)で好きな物を作り、年中組は同じ素材でピン人形を作っています。私の担当している年少組もフォルモに挑戦しました。初めは粘土遊びで何度も作っては丸めを繰り返して楽しんで、いよいよフォルモを手に入れます。「これは、作った後、段々と固くなる魔法の粘土よ」と話を聞いて、真っ白な粘土をこねこね、思い思いの形を作ります。丸めてお団子、伸ばしてへんがはまた器用ではない手で作る代表的な形、平らにしてピザ、車やウサギなど色々な形が出来上がり。そして次は、固くなった粘土に絵の具で色付け。虹色のへび、青いピザ、ピンク色の猫など大好きな色で塗っていきます。最後は保育者がニス塗って仕上げしていきますが、子どもたち



ちのぎゅつと握った指の後を見つけて可愛いなとほっこりしたり、細い手足を壊さない様にドキドキしたり、作っている子どもたちを思い浮かべて作業する幸せな時間です。そしていよいよ作品展。「これをつくった」とお母さんの手を引つ張り自分の作品の前へ。「上手にできたね!」の一言に子どもたちからはパッと笑顔がほほれまします。作る楽しさと、出来上がった作品を褒めてもらい、子どもたちはパワーいっぱい次のステップへ。年少さんの今だけの赤色のお団子や、カラフルな車などの作品から、新しい年を迎え、春には年中さんに進級し、次年度の作品展ではピン人形にチャレンジする予定です。同じ素材でも一年経つと手先も器用になり、色塗りも上手になることでしょう。子どもたちの成長を楽しみ、その瞬間に出会える事に感謝しています。



- 片石結衣那 猪俣華永
- 福井佑 下村泰毅
- 本橋準一 岩本咲真
- 笹野蒼翔 小澤音杜
- 桑島莉緒 渡邊燈
- 近藤葵 佐々木咲実
- 渡邊佑汰 島田莉空
- 谷本麻輔 野村篤生
- 鈴木万琴 石川実暉
- 森野結翔 佐藤柊羽
- 鈴木渚紗 鶴田心結
- 黒田峰鬼 山下朔史
- 大川穂乃 宇野煌彩
- 長澤奏 小林篤人
- 飯嶋美結 井口葵偉
- 橋山夏帆 青木佳澄
- 倉西風奈 伊谷萌々子
- 山根蒼生 新井心音
- 井上美和 唐澤芽依
- 永山陽菜 廣井涼花
- 鈴木文乃 佐藤すみれ
- 山崎喜太 堂本真白
- 潮美咲 熊谷乙杜
- 北島榛人 坂山帆乃
- 勝亦灯 新佐木基弥
- 橋本史也 飯塚美遥
- 大宮吉平 田中蒼羽
- 内木場未采 木村律貴
- 石坂律季 太田彩愛
- 大船逢海 青木結翔
- 阿川廉 鈴木進平
- 鎌田風獅 市川陽平
- 日向唯結 山口凜真
- 松嶋凌功 荒井記緒
- 守屋那奈 田口しほ
- 横山湊士 武内亮介
- 篠崎ゆら 栗田夏帆
- 栗原鈴 荻野咲良
- 橋本朝陽 前田大和
- 星颯汰 小林永菜
- 岡安真奈花 松浦愛来
- 南家壮佑 柴田統吏
- 山田青空 相沢健斗
- 福岡由乃 竹田奏
- 熊谷琉純 川井晴道
- 山田唯乃 稲葉鈴衣
- 加藤匠 井上晴仁朗
- 中井汰樹 鷹木リルエン
- 吉田すず 笠井惟吹
- 澤口叶 吉永燈
- 飯田橙空 細貝英利
- 白戸穂 木戸湊之
- 手塚慧 和田夏芽
- 渡邊燈 勢能結唯
- 岩間太慈 川崎愛海
- 野村篤生 渡部愛海
- 石川実暉 森岡律来
- 佐藤柊羽 岩井涼晟
- 鶴田心結 櫻井琳柁
- 山下朔史 岡井来実
- 宇野煌彩 水ノ江紫衣奈
- 小林篤人 代島伶旺
- 井口葵偉 松本蒼大
- 青木佳澄 常盤颯大
- 伊谷萌々子 横見夏樹
- 新井心音 小出夏綺
- 唐澤芽依 小峯玄
- 廣井涼花 泉純斗
- 佐藤すみれ 加藤葵史
- 堂本真白 加藤蒼大
- 熊谷乙杜 西原紡希
- 坂山帆乃 安本央吏
- 新佐木基弥 飯塚美遥
- 飯塚美遥 田中蒼羽
- 田中蒼羽 小野瀬風
- 木村律貴 岡田希唯
- 太田彩愛 長野暉
- 青木結翔 橋本侑磨
- 鈴木進平 徳野灯
- 市川陽平 廣綾桜
- 山口凜真 平澤実歩
- 荒井記緒 高杉桃
- 田口しほ 伊藤花
- 武内亮介 六戸大知
- 栗田夏帆 松本昊
- 荻野咲良 青野はな
- 前田大和 竹鼻隼稀
- 小林永菜 梶原弘貴
- 松浦愛来 小林環太
- 柴田統吏 福田風彩
- 相沢健斗 渡邊凜菜
- 竹田奏 ヴァルリヒト世
- 川井晴道 ヴァルリヒト星和
- 稲葉鈴衣 ヴァルリヒト世
- 井上晴仁朗 榎本翔紀
- 鷹木リルエン 耕田彩風
- 笠井惟吹 小島永羽
- 吉永燈 小野禪
- 細貝英利 中島紗菜
- 川床蕾 川床蕾
- 谷口アリス 井上賀偉
- 大畑琥生 水田權理
- 大曾根諒 森川未織
- 岡村華 上原まひる
- 松本楓大 來山蓮
- 影山マツキ 石野立都
- 武内悠真 西野遥空
- 白井晴紀 池浦朱昂
- 安藤凜 北河依音
- 渡部愛海 加藤明弥
- 森岡律来 遠藤颯真
- 岩井涼晟 松崎山南
- 櫻井琳柁 松田果鈴
- 岡井来実 岡田煌平
- 水ノ江紫衣奈 石井日穂
- 代島伶旺 小林翔夢
- 松本蒼大 樋口颯人
- 常盤颯大 大橋鈴
- 横見夏樹 千野瑛大
- 小出夏綺 高林千紗
- 小峯玄 東田悠希
- 泉純斗 谷戸巴美
- 加藤葵史 藤井柑風
- 加藤蒼大 津田悠陽
- 西原紡希 薄井紫紀
- 安本央吏 井上陽葵
- 飯塚美遥 前田侑里
- 田中蒼羽 伊藤美沙
- 小野瀬風 江田杜和
- 岡田希唯 山崎結名
- 長野暉 片山莉緒
- 橋本侑磨 徳野灯
- 徳野灯 君塚陽
- 廣綾桜 廣坂理瑚
- 平澤実歩 佐藤伊吹
- 高杉桃 鶴見珀
- 伊藤花 小嶋麗生
- 六戸大知 杉本湊音
- 松本昊 根岸季穂
- 青野はな 地田明利
- 竹鼻隼稀 高橋逢矢
- 梶原弘貴 吉良海俐
- 小林環太 西田掬
- 福田風彩 米山千琉音
- 渡邊凜菜 日比野湊介
- ヴァルリヒト世 竹下空良
- ヴァルリヒト星和 ヴァルリヒト世
- 榎本翔紀 黒木海翔
- 耕田彩風 高木咲良
- 小島永羽 松井琉李
- 小野禪 廣田楓芽
- 中島紗菜 栗原正知
- 川床蕾 三原彩嘉
- 川床蕾 麻生新
- 井上賀偉 吉村結斗
- 水田權理 田端律
- 森川未織 宮原叶色
- 上原まひる 宮原叶色
- 來山蓮 飯島希子
- 石野立都 増田朔都
- 西野遥空 松本恭弥
- 池浦朱昂 奥山珠衣
- 北河依音 射場鈴葉
- 加藤明弥 吉本爽真
- 遠藤颯真 太田愛梨
- 松崎山南 中川旺大
- 松田果鈴 山田颯太郎
- 岡田煌平 山田颯太郎
- 石井日穂 山田颯太郎
- 小林翔夢 吉名陽音
- 樋口颯人 春日淳志
- 大橋鈴 馬込萩
- 千野瑛大 内田迅映
- 高林千紗 八木詠聖
- 東田悠希 杉本明音
- 谷戸巴美 大瀧義也
- 藤井柑風 長谷川想
- 津田悠陽 中村晴
- 薄井紫紀 照井結月
- 井上陽葵 栗原悠久
- 伊藤美沙 三國公悠久
- 江田杜和 栗原康弥
- 山崎結名 定兼蒼大
- 片山莉緒 木村結翔
- 君塚陽 榎本環菜
- 廣坂理瑚 榎本凜菜
- 佐藤伊吹 笹川満央
- 鶴見珀 篠崎凜咲
- 小嶋麗生 和彩恵
- 杉本湊音 塚本景也
- 根岸季穂 八木太一
- 地田明利 野島ゆい子
- 高橋逢矢 加藤碧
- 吉良海俐 松本恵波
- 西田掬 三宅凜来
- 米山千琉音 石田清一郎
- 日比野湊介 齊藤凜
- 竹下空良 水島恰花
- ヴァルリヒト世 今村志帆
- ヴァルリヒト星和 黒澤斗名
- 黒木海翔 井出陽七乃
- 高木咲良 井出陽七乃
- 松井琉李 関根繪穂華
- 廣田楓芽 井手上葵菜
- 栗原正知 篠原蓮
- 三原彩嘉 篠原蓮
- 麻生新 中島紫悠
- 麻生新 石若奈津希
- 村田恆之介 若松蒼大
- 佐々木響 吉田侑楓
- 中村充希 小野陽路
- 荒井楓花 浅古結衣
- 小熊来季 高橋佑誠
- 塩井創斗 阿部劍士
- 増田朔都 関口陽仁
- 松本恭弥 佐久間律
- 奥山珠衣 三嶋幸之佑- 射場鈴葉 松島花果
- 吉本爽真 石井暁翔
- 太田愛梨 丸川千晴
- 中川旺大 清水みのり
- 山田颯太郎 西園奏芽
- 山田颯太郎 小椋翔生
- 山田颯太郎 濱田梨心
- 吉名陽音 内藤葵
- 春日淳志 林田惟礼
- 馬込萩 佐藤美逢
- 内田迅映 伊藤叶空
- 八木詠聖 土藤叶奏
- 杉本明音 今村心泰
- 大瀧義也 丸若優音
- 長谷川想 東川平築
- 中村晴 菅秋彩
- 照井結月 安西海美
- 栗原悠久 太田渚生
- 三國公悠久 鈴木文至
- 栗原康弥 岩井美帆
- 定兼蒼大 飯尾壘
- 木村結翔 馬場陽菜莉
- 榎本環菜 榎本凜菜
- 榎本凜菜 佐藤楓真
- 笹川満央 樋口伶
- 篠崎凜咲 小林佑衣
- 和彩恵 小林朔都
- 塚本景也 上河原權吏
- 八木太一 高津風凌
- 野島ゆい子 和田率
- 加藤碧 梶原千暉
- 松本恵波 伊藤慧采
- 三宅凜来 増永詩菜
- 石田清一郎 前川颯斗
- 齊藤凜 溝部寛人
- 水島恰花 高橋瑠李
- 今村志帆 鶴山玲衣
- 黒澤斗名 三浦新衣
- 井出陽七乃 熊谷奏来
- 井出陽七乃 相川瑠汰
- 篠原蓮 古屋伊織
- 篠原蓮 稲葉綜一
- 中島紫悠 西澤樹
- 石若奈津希 松本彰梧
- 石若奈津希 上村朔也
- 石若奈津希 望月瑞巴
- 村田恆之介 佐々木響
- 若松蒼大 吉田侑楓
- 小野陽路 浅古結衣
- 高橋佑誠 阿部劍士
- 関口陽仁 佐久間律
- 三嶋幸之佑 松島花果
- 石井暁翔 丸川千晴
- 丸川千晴 清水みのり
- 魚井葵央 齋木史未
- 島中勇守 山西結菜
- 小野陽路 待井咲那
- 浅古結衣 安永輝依
- 高橋佑誠 柿田陽依
- 阿部劍士 大平怜司
- 佐久間律 阪本蓮治郎
- 三嶋幸之佑 荒井明利
- 松島花果 山田源暉
- 石井暁翔 豊嶋日彩
- 丸川千晴 清水翠
- 魚井葵央 榎心海
- 齋木史未 林某由莉
- 松本綾人 鈴木雄翔
- 鈴木雄翔 箭田心春
- 近藤好莉 佐藤優羽
- 山本詩葉 岩淵然
- 大久保天 松井紗代
- 林某由莉 松井紗代

**緑豊かな都心の杜で  
絆深める和婚式**

成人式 卒業式 衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

**清涼殿** 03(3312)7515

**結婚式挙式者芳名(敬称略)**

(令和5年9月1日~12月31日)

工新一郎・京子 市川玲・沙織  
吉田啓一郎・由佳

- 若松蒼大 島中勇守
- 吉田侑楓 小野陽路
- 平塚凱登 浅古結衣
- 高橋佑誠 渡邊太衆
- 阿部劍士 伊藤郷人
- 関口陽仁 帯刀叶都
- 佐久間律 鈴木絃
- 三嶋幸之佑 木梨快陸
- 松島花果 中嶋律晴
- 石井暁翔 茂木二穂
- 丸川千晴 清水翠
- 魚井葵央 榎心海
- 齋木史未 齋木史未
- 山西結菜 待井咲那
- 安永輝依 柿田陽依
- 大平怜司 阪本蓮治郎
- 荒井明利 荒井明利
- 山田源暉 山田源暉
- 豊嶋日彩 豊嶋日彩
- 清水翠 清水翠
- 榎心海 榎心海
- 齋木史未 齋木史未
- 松本綾人 鈴木雄翔
- 鈴木雄翔 箭田心春
- 近藤好莉 佐藤優羽
- 山本詩葉 岩淵然
- 大久保天 松井紗代
- 林某由莉 松井紗代

**戌の日詣りは 聖母大神・子育て八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!**

※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。






5月	4月	3月	2月	1月
10日(金)	4日(木)	11日(月)	4日(日)	11日(木)
22日(水)	16日(火)	23日(土)	16日(金)	23日(火)
	28日(日)		28日(水)	

**戌の日早見表** (令和6年1月~5月)



すがすが  
**新春にはご祈願をお受けになり、清々しい1年に致しましょう**  
 (新春初祈願祭は、2月3日の節分までご奉仕致します。)



修祓の儀



齋主祝詞奏上



鈴振り神事

スマートフォンからは、下のQRコードを読み取ってご覧頂けます。



大宮八幡宮のホームページでは、コロナ禍や遠方にお住まいなど、やむを得ず当宮にお越しになれない方のためにオンライン授与所を開設しております。他にも大宮八幡宮のご由緒や四季折々の祭典・行事、大宮八幡宮でしか見られない行事などが紹介されています。スマートフォンからご覧頂けます。

**大宮八幡宮オンライン授与所**



**大 宮 第128号**  
**令和6年新春号**  
 令和6年1月1日発行  
**大宮八幡宮社務所**  
 〒168-8570  
 東京都杉並区大宮2-3-1  
 電話(3311)0105 FAX(3318)6100  
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp

**新春社頭風景**



表参道の賑わい



授与所にて新春のお守りを受ける参拝者